入院病棟のご案内

当院は、急性期病棟と慢性期病棟の機能を有しており、急性期（症状の発現が急激で生命の危機状態にある）から慢性期(病状は比較的安定しているが、継続的な入院診療が必要な状態にある)まで、状態・状況に合った病棟で療養していただける病院です。

《病棟・病床種別及び特性》許可病床数：１７６床（休床：２０床）

●一般病棟（２Ｂ病棟：３９床）

急性期疾患に対し検査や手術等の集中的な治療を必要とする患者様が入院する病棟です。

●地域包括ケア病床（２Ｂ病棟：１０床）

急性期治療を終了し、症状が改善した患者様・すぐに在宅や施設へ退院するには不安のある患者様に対し、在宅復帰に向けて医療管理・診療・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病棟です。在宅あるいは介護施設に復帰予定の方であれば対象となります。

●障害者病棟（2Ａ病棟：３９床）

主に、神経難病の方（パーキンソン病等）、重度の肢体不自由者、重度の意識障害者で長期的な療養が必要な患者様が入院する病棟です。

●医療療養型病棟（３Ａ病棟：４１床／３Ｂ病棟：３７床）

急性期の治療を終え症状は安定しているが、継続的に入院治療を必要とする患者様が入院する病棟です。

2025 年 4 月 1 日　現在